



こはくちょう

人と自然が、おしゃれな街。

【表紙】
 桜の季節、春爛漫ですが、18年ぶりのぎすみの雪景色をお楽しみください。
 写真は下ローションにより1月25日(水)に撮影されたものです。

来住地区地域づくり協議会



36

男池・女池

阿形町方面

特集

黍田町の

ハナフリゴツキ

昨年の9月1日に、つぎの5つの行事が、兵庫県登録無形民俗文化財として登録を受けました。小野市からは黍田のハナフリ・ゴツキ（牛撞き）行事が登録されました。

種類	名称	所在地	保存関係者 (保持者・保持団体)
登録 無形 民俗 文化 財	<small>ふいご</small> 輔まつり	三木市	三木金物神社奉賛会
	黍田のハナフリ・ゴツキ（牛撞き）行事	小野市	黍田町自治会
	<small>えんえんわ</small> 園園和	朝来市	三保子供会・三保区
	<small>いぐみ しょうろうふねなが</small> 居組の精霊船流し	美方郡 新温泉町	居組龍雲寺護持会
	<small>もちよせ しょうろうふねなが</small> 諸寄の精霊船流し	美方郡 新温泉町	諸寄精霊流し実行委員会

兵庫県教育委員会文化財課の説明文です。

黍田のハナフリ・ゴツキ（牛撞き）行事（無形民俗文化財）（小野市）

小野市黍田町の大歳神社、毘沙門堂などで年頭に行われるオトウ行事である。現在は黍田町自治会が主体で、毎年1月3日に行われる。元分2年（1737）からの、「当番勤務帳」が残り、オトウ行事は江戸時代中期まで遡り、ハナフリ等も実施されていたことが推測される。この行事は神社で行うハナフリと堂で行うゴツキ（牛撞き）を併催する点に特徴がある。

ハナフリは、当人が神社本殿に御膳と重箱を供え、自治会長が藁束に黒松を括り付けたツトを捧げ持ち、町内安全・五穀豊穰等を祈って左右に振る。その後、当人が神前の御膳と神酒を参拝者に振る舞い、毘沙門堂へ移動する。毘沙門堂に参拝したあと、参拝者は檜の枝の上部に御札を挟んだゴを持ち堂の床を叩くゴツキ（牛撞き）の行事を行う。その後墓地にある釈迦堂でゴを納め、阿弥陀堂にお参りしたあと、黍田会館で当人の引き継ぎの行事である当渡しが行われ、会食となる。新当人はハナフリで使用した朱塗りの脚付き膳を家に持ち帰り1年間祀る。また、自治会は行事に使用する食事や道具作りを地域の子どもに指導し担わせることで行事の継承に努めている。

黍田のハナフリ・ゴツキ（牛撞き）行事は、播磨地区の特色ある正月行事の一つとして、県内で注目される存在である。

平尾自治会長のコメント

「町内安全・五穀豊穰等を祈願して、250年以上にわたって地域みんなで守ってきた行事です。このような登録を受け、我々の世代から、次の世代、また、その先も受け継いでいけるように、黍田町のみんなで守っていきたい。」



オトウ行事風景



みんな



ハ





でハナフリのツトづくり



ハナフリのツトの奉納



当渡し



昆沙門堂



大歳神社



ゴツキ



テレビ取材



ハーフマラソン給水所ボランティア



給水所準備風景



復路給水支援



ミーティング風景



白バイ先導



往路給水支援

昨年12月4日の小野ハーフマラソンの給水支援を終えて

小野市政60周年を記念して、冬の小野恋チャリティハーフマラソンとして始まった大会も、新型コロナによる中止もありましたが、今回で第9回目となり、1.5kmの小学生低学年から、ハーフマラソンの部まで、4,180人の参加があり盛大な大会となりました。

私たち来住地区からは、地域づくり協議会を中心に22名が、久保木町公民館で給水支援にあたりました。何回も参加されている人、初めて参加する人、全員が準備を整えランナーを待ちました。

すると、見たこともないスピードで駆け抜ける上位選手、コップが間に合わないほどの大勢のランナー、嵐のような往復2回が過ぎました。「がんばれ」、「がんばれ」の声掛けに対し、ランナーから給水に対して、「ありがとうございます」「生き返った」そのような声に、逆に我々が励まされた気がしました。

来年の第10回の大会が、より盛大に開催されることをお祈りしまして、私の感想といたします。

来住地区地域づくり協議会会長 前田 勝樹

「感謝」

つばやき

平成18年に南中に勤務してかれこれ17年が経とうとしています。

今の南中生が産まれる前からの勤務でした。南中には以前にも1度勤務したことがあり、通算24年間の勤務でした。「あいさつの南中」「交通の南中」「掃除の南中」「生徒会の南中」「人権の南中」「歌声の南中」……。暇を閉じると、その時その時の生徒たちの頑張る姿や感動した瞬間、日々成長していった姿が浮かんできます。在校生をはじめ多くの卒業生たち。そしてその保護者のみなさま、地域のみなさま。多くの方とお出会いし、最高に幸せな気持ちで過ごすことができました。



来住地区は『子どもは地域の宝』という思いで、いつもあったかいまなざしで子どもたちを見守られています。『笑顔がとてもしずきな南中生』というキャッチフレーズもありますが、これらは来住地区すべてのみなさまのやささあられる風土があるおかげだと思えます。来住地区は日本一の地域です。ほんとうにありがとうございました。

小野市立小野南中学校長 岡田 和幸

かわいふれあい交流会に参加して

新型コロナの影響で、視察研修などの遠征活動ができなくなり、また、地域の交流研修会も中止せざるをえないなか、かわいヒューマンライフ推進協議会から交流会の案内があり、区長会を中心に参加させていただきました。

研修は、自己紹介から始まり、パワーポイントによるかわいヒューマンの活動発表と質疑応答、昼食にお弁当をいただき、午後は啓発ビデオ「かんしん」を視聴、最後に意見交換を行い、大変充実した研修を受けました。

人権学習の1つとして、交流することが一番大切と考えます。令和5年度は我々が企画して充実した交流会を開催したいと考えています。



交流会全体風景



きすみのヒューマンライフ推進協議会 前田会長



かわいヒューマンライフ推進協議会 山田会長



スポーツ部会

令和4年11月13日(日)、匠台公園体育館おのアクトにおいて、来住地区区長会主催の「令和4年度来住地区ソフトバレーボール大会」が、3年ぶりに開催されました。中学生から60歳代までの幅広い年齢層の選手102名の方が、白熱した試合を楽しめました。

	優勝	準優勝	3位
男子の部	黍田町A	黍田町B	福甸町
女子の部	黍田町A	西脇町B	西脇町C
トリムの部	西脇町A	黍田町	下来住町2組A



開会式



試合



表彰式



安全部会

令和4年度に各町から要望のありました、安全対策備品(交通安全看板等)の購入配布を1月17日(火)から開始しました。その後、各町役員さん等により設置され交通事故の防止に役立つこととなります。



交通安全看板 福甸町にて設置

 交通安全看板
黍田町にて設置



環境部会

昨年の8月末の暑い中、環境部会と企画部会で植えたキバナコスモスが10月末には見ごろを迎えました。その中には映画で見るような白いドア、きすみの祭りが中止となったなか、撮影スポットとして多くの人がおとずれてくれました。

11月20日（日）9時から、環境部会員全員でコミセンの花壇とプランターに花の植栽を行いました。今でも植栽したパンジー、ダイアンサス、チェイランサスの小さな花が来庁者を楽しませています。

きすみの堂農様
コスモス畑については、
毎年丁寧な耕うんを
ありがとうございます。
本年もよろしくお願
いいたします。



企画部会

令和5年2月26日（日）9時から、ウォーキングイベント「きすみの歴史探足」を開催しました。今回のテーマは、「阿形城を訪ねる」—阿形城はなぜ築かれたのか？—で、阿形町公民館を出発し、阿形城跡、大龍寺、観音堂、粟生町天満宮（岡城）、若一神社を巡り阿形町公民館までの約4kmを、西田前好古館副館長の解説を受けながら、参加者59名スタッフ11名の計70名が、約3時間をかけ歩きました。当日は雪まじりの寒い日でしたが、全員が元気に完歩しました。



ウォーキング「きすみの歴史探足」



出発式



阿形城



大龍寺



観音堂



岡城（粟生町天満宮）



若一神社

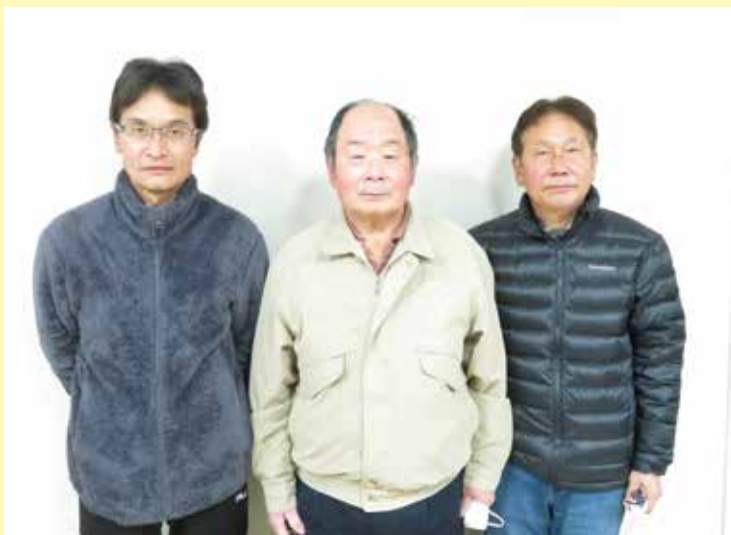
令和4年度地域づくり協議会 副会長あいさつ

今年の冬は、18年ぶりの積雪があり戸惑われたことと存じます。

当地域づくり協議会におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大により、書面会議への変更や各種イベントの中止により、本来の目的であります、「地域のきずなを大切に守り育てる」を実行しにくい状況にありました。

本年度におきましては、きすみの祭などは中止となったものの、各部会の活動につきましては、ほぼ計画通りに実施できましたのも、皆様のご協力の賜物と感謝いたしております。

そのようななか、個人の判断によるマスク着用、疾病の分類を2類から5類へ変更され季節性インフルエンザと同等の扱いにするなど、3月から5月にかけて大きく変更されることになり戸惑うこともあろうかと存じますが、来年度の事業につきましても、きすみのらしさを大切に、盛大に実施できます事を願い、変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げ、あいさついたします。



藤野 憲昭 藤尾 武人 平尾 豪

地域トピックス

社交通安全協会来住支部・社防犯協会来住支部の引越し

このたび、旧小野市農協来住支所倉庫の整理により、交通安全協会、防犯協会来住支部事務所の引越し整理を、さる2月25日（土）9時から、来住地区区長会及び交通防犯の両協会で行いました。今後は備品倉庫をコミセンきすみの駐車場に新設、会議等はコミセンきすみの会議室で行う予定になっています。

長年にわたり倉庫の一部を使用させていただきました、JA 兵庫みらい様には深く感謝申し上げます。



編集後記

年2回発行しております「こはくちょう」ですが、令和5年度第1回発行は8月1日発行を目指し編集してまいります。来住地区地域づくり協議会を中心に、きすみの地域情報を発信できたらと願っています。

「こはくちょう36号」を皆様の手にされるころには、前谷川や鴨池の桜が満開、追ってやなせ園の八重桜など、春真っ盛りのきすみのを体感（お花見のビールは最高）されていることと存じます。

